

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年4月15日

事業所名:児童発達支援事業所すたーと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動に必要な教材等が増えてきている。収納等も用意しながら整頓し、スペースを確保していく。
	2	職員配置数は適切であるか	○		療育内容や状況に応じて、全職員でフォローする体制をとっている。	利用人数も増え、1対1の支援が必要な利用児童も増えている為、今後職員の増員も検討していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		個人ロッカー・椅子・テーブル等に写真・名前を貼ったり、日程をホワイトボードに記入し、視覚的にも分かりやすいようにしている。法人内は出来ないが、事業所内はバリアフリー化している。	視覚優位の利用児童の為に、絵カード等を更に増やして、より伝わりやすいよう工夫していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日、清掃・消毒・整理整頓・安全確認を行っている。冷暖房・加湿器を完備。活動や利用児童の状況から物品の配置を変更する等して工夫している。	引き続き、清潔で心地よく過ごせるよう、気付いた事があれば随時検討し、改善していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		必要に応じて、業務改善は行なっているが、PDCAサイクルを活用出来ていない為、今後改善していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			事業所評価・面談等で、保護者の意向を把握し、事業所内・法人内で検討し、業務改善に繋げていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		利用する保護者に対しては、事業所の毎月のお便りと一緒に公表内容を配布し、法人のホームページに公表内容を掲載している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価は実施していない。今後、必要に応じて検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		複数の職員が受講出来るようにしている。研修参加後は、会議等の場で内部研修を行なっている。	コロナ禍の為、研修の機会は減っているが、オンライン研修等を可能な限り受講し、内部研修に繋げていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		会議の場で、利用児童の現状や課題を確認し、個別支援計画の作成を行なっている。保護者のニーズは、面談・連絡帳等でのやり取り・サービス等利用計画から把握している。	引き続き、子どもと保護者のニーズや課題に応じた、適切な個別支援計画を作成できるよう努力していく。
	11	子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートは、共通したものを使用している。	発達段階の確認についてのアセスメントツールを導入を検討していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画には、必要な支援内容を具体的に明記している。	家族支援・地域支援を更に強化して支援していけるよう、各関係機関との連携を図り、研修等があれば参加をしていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		各利用者の支援内容を抜粋し、一覧にして適宜確認して支援にあたるよう工夫している。	今後も、会議で個別支援計画の内容を共有し、全職員が統一した支援を行えるようにしていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		月間で活動プログラムを作成し、会議で話し合って決定している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節の行事を取り入れたり、新たな活動内容を少しずつ追加しながら月間活動プログラムを作成している。	今後も、色々な経験をさせていけるよう、研修に参加する等して、活動内容が固定化しないようにしていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		基本的には、集団での活動になるが、その時の利用児童の状態によっては個別活動も取り入れながら、臨機応変に対応している。	今後も、利用児童の状況に応じて、個別・集団での活動を考慮しながら、個別支援計画を作成していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		当日の利用児童の確認・活動内容・利用児童の最近の状態等を、職員全体で確認・共有している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		夕方に、その日の活動・支援の振り返り、利用児童の様子、課題等を情報共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日、パソコンにて記録している。1ヶ月ごとに、利用児童の記録を確認し、支援の検証・改善に繋げている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別支援計画を適宜確認し、現在の状態と合っているか確認し、必要に応じて見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		現在まで、関わる機会がなかった。今後、必要に応じて各関係機関との関係作りを行っていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		現在まで、対象となる利用児童がいなかった。今後、必要に応じて、行っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		現在まで、対象となる利用児童がいなかった。今後、必要に応じて、行っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		現在まで、関わる機会がなかった。今後、関係を構築できるよう努めていく。また、研修等あれば参加をしていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		現在まで、機会がなかった。今後、交流する機会が作れるよう模索していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		現在まで、機会がなかった。今後、機会があれば参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時・面談時・連絡帳等で発達段階について共有出来るようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		十分な支援を行えていない為、今後研修等に参加して、家族支援を充実させられるよう努めていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている。運営規定・重要事項説明書は、事業所前に掲示している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別面談の際に、支援目標についての説明を行い、署名・捺印を頂き、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談があった際には、送迎時・面談時・お手紙等で助言を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		現在まで、保護者会は開催していない。保護者からの要望もある為、検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談があった際には、職員間(法人内)で周知し、対応を検討して、適切に対応出来るようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		法人の広報誌を年3回、事業所のお便りを毎月発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員の守秘義務を徹底し、必要な事項に関しては保護者に同意書をとるようにしている。ケース記録は施錠して保管している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用者に対しては、視覚的にも伝わるよう絵カード等を利用している。保護者に対しては、可能な限り書面でも情報発信している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		以前は、法人行事の収穫祭に招待していたが、感染症等の問題もある為、どのような形で行えるか法人内で検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルの策定を行い、職員への周知・確認は適宜行っている。防災訓練は、毎月1回実施している。	保護者への周知は部数が多い事もあり、行なえていない。どのような形で周知できるか検討していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練は、毎月1回実施している。防災教育として、防災紙芝居等で、利用者にも伝わるよう工夫している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に、保護者に確認を行っている。個別の緊急時対応マニュアルを作成し、職員に周知している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食物アレルギーに関しては、厨房・児童発達支援の職員によるダブルチェックで誤食を防止している。	今後、食物アレルギーのある利用児童に対しては、生活管理指導表の提出をお願いしていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		その都度会議で確認し、ヒヤリハット・事故報告書をファイリングして、情報共有をしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待研修を代表者が受けて、内部研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				現在まで、身体拘束は行なっていない。今後、必要な場合には左記のように対応していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行なった自己評価です。